

助教または講師または准教授の公募（地盤防災工学分野）

神戸大学工学研究科市民工学専攻 人間安全工学講座 地盤防災工学分野

公募内容：市民工学専攻の人間安全工学講座では、人々が安全で安心して持続的に生存できる文明の礎を考究する。災害などの外生的リスクに対して安全な社会の創造に関する教育研究を行い、社会への研究発信と人材育成を行う。その中で「地盤防災工学」分野は、防災・減災のための人間安全工学の発展に寄与し、安全・安心な都市・地域の創造を推進することを目指している。本分野における教育研究は、地盤防災工学に関する深い学識と卓越した専門的能力を持つ工学人材の育成、基礎的な市民工学教育の充実と向上、更には学際研究に関する新たな研究領域に貢献することが期待されており、これまでの地盤工学の枠組みにとどまらず、他分野の研究との融合により、防災減災に資する先端的研究を行うことができる人材を募集する。

なお採用された場合には、工学部市民工学科、工学研究科市民工学専攻が提供する土質力学や地盤工学に関連する専門科目やその他共通的な専門科目および全学、自然科学系、工学系の共通科目の教育担当および学内の管理・運営の担当も行う。

研究分野： 大分類 工学

小分類 土木・建築工学

勤務形態： 講師または准教授：常勤・任期なし

助教：常勤・任期5年（本学の教職員としての雇用期間がある場合、その雇用歴によって、雇用期間を通算して5年となる場合があります。）ただし、テニユアトラック制により、任期期間満了までに研究業績、教育実績等を審査の上、任期なしへの移行を行う場合があります。

勤務地： 近畿－兵庫県

募集人員： 助教または講師または准教授 1名

応募資格：

- （１） 学位：博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む）を有すること。
- （２） 教育研究領域と求められる資質：
 - （ア） 専門性：地盤工学に関連した優れた研究業績を有すること。
 - （イ） 国際性：海外との人的ネットワークを有し、市民工学専攻の国際活動に貢献できること。
 - （ウ） 協調性：教育研究における見識、専門分野にとどまらない分野融合研究のための企画能力と協調性を有すること。

- (エ) 社会貢献：社会貢献に積極的に寄与できること。
- (オ) その他：日本語および英語によって学生の教育および研究指導を行えること。

募集期間：2025 年 7 月 7 日必着

着任時期：2025 年 10 月 1 日以降のできるだけ早い時期

応募書類：

- (1) 履歴書：以下の URL にアクセスし、所定の様式（“履歴書様式 [excel]”）を利用して提出すること。
http://www.eng.kobe-u.ac.jp/utilizer/for_employment/format.html
- (2) 研究業績リスト：「著書」, 「査読付き論文（Web of Science に登録されている雑誌論文に※を付す）」, 「解説・総説」, 「国際会議などのプロシーディングス論文」, 「大学・研究機関などの紀要・報告」, 「国際会議などにおける招待講演」, 「その他の学術講演など」に分けて記載すること。
- (3) 主要論文 3 編の別冊（コピー可）。
- (4) 過去 5 年間に研究代表者／分担者として獲得した競争的資金（科学研究費など）のリスト（研究代表者か分担者かを明記）。
- (5) 着任後の教育に関する抱負，研究に関する抱負（各 A4 用紙 1 枚程度）
- (6) 応募者について意見が伺える方 2 名の氏名と連絡先（E-mail を含む）。

提出先：

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学工学研究科市民工学専攻

専攻長：中山恵介（2025 年 3 月末まで），内山雄介（2025 年 4 月以降）

電話／FAX：078-803-6067／6069（市民工学事務室）

e-mail：nakayama@phoenix.kobe-u.ac.jp（2025 年 3 月末まで）

uchiyaama@harbor.kobe-u.ac.jp（2025 年 4 月以降）

封筒の表に朱書きで「市民工学専攻教員選考応募書類在中」と明記し，書留郵便としてください。応募書類は原則として返却しません。

連絡先：同上

備考：書類選考の上，面接を行うことがあります（選考結果は文書で通知します）。面接選考の際の交通費等は支給しません。

神戸大学は男女共同参画社会基本法の趣旨に則り，女性研究者の積極的な応募を歓迎し，業績および資格等に係る評価が同等である場合には，女性を優先的に採用します。